

01

粒子

FILM+PIXEL

映像メディア学科・教授
Department of Visual Media・Professor

西宮 正明 Masaaki NISHIMIYA

要旨

現在の私の研究課題の主たるテーマは、60年代から継続して、「映像とは何か」、その中で特に「写真の粒子は美しい」という平易な言葉で、「デジタルには無い、アナログな写真フィルムの持っている存在感」をその基本となるマテリアルとしての銀塩粒子の超拡大も含めた、ビジュアル表現でアピールしようとするものなのです。

この研究及び作品制作の目的は、この万能に近い、デジタル表現及び、その通信能力により、我々が170年余、自らの言葉とし、又道具として来た、アナログ写真の歴史が、フィルムと同時に、消滅するかも知れない、という問題意識に対して、むしろ、フィルム粒子は、デジタルのピクセルにより、更に、強烈にビジュアル化出来る、というフィルム粒子とデジタルピクセルの共存を実証により明らかにする、未来志向な、作品による研究発表なのです。この研究発表は、来る2010年より、展覧会形式で本の出版も含めて、国内外で発表を開始します。掲載の作品は、その代表作です。











